

事業所における自己評価結果						
事業所名		公表				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	スペースを広く活用できるように、活動に応じて机等の物の配置を変えています。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	国の配置基準よりも多く職員を配置しています。様々な資格を持った職員を配置し、状況に応じた個別の対応が行えるようにしています。	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	スケジュールを掲示し、必要に応じてイラストや写真を用いて視覚的支援を行っています。階段の上り下りには職員が付き添い、持ち物が多い際には職員が補助を行なながら転落防止に努めています。	混雑時の階段の上り下りの安全面。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	日々の清掃に加え、半年に1回、法人全体で美化点検があり、施設全体を清潔に保てるようにしている。	物の場所を決めて整理整頓しやすい環境を作る。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	別室を利用できるようにしています。	個別の部屋は1つしかない為、パーテーションを活用して空間を区切る。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	日々のミーティングで目標についての話し合いや、振り返りを行っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者向けの評価表を活用し、アンケート調査を実施しています。ご意向やご要望を踏まえて職員間で話し合い、業務改善に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	意見を言いやすい雰囲気作りをしており、様々な意見を聞きながら検討しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	実施できていません。	現在は実施できていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	法人内の研修に積極的に参加しています。施設に持ち帰り、職員間で周知する時間を設けています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	毎月配布する通信に記載し、支援プログラムを公表しています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	送迎時や面談時に保護者のニーズを聞き取り、作成しています。ニーズや課題を踏まえて職員間で話し合い、計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	計画の作成前、作成時には十分にケース会議を行い、児童発達支援管理責任者、保育士、児童指導員など多方面からの意見を取り入れながら、支援内容を決定しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	計画作成後は目標と支援内容を職員全体で共有し、日々の支援を振り返り、計画に沿った支援ができているかを話し合う時間を設けています。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	日々のミーティングで子どもの行動について確認し合っています。発達検査の希望等があれば、実施できる機関をお伝えしています。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	計画作成前にも十分に情報共有を行い、児童発達支援管理責任者が作成した支援計画を職員全員が確認し、より具体的な支援内容を設定するためにケース検討会議を重ねて本計画の作成を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	子どもたちが興味を示したものや楽しく取り組めた内容を職員間で共有しながら、様々なプログラムを計画しています。	立案は少人数で行っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	職員間で意見を出し合い、5領域と関連付けながらバランスよく取り組めるように努めています。長期休暇には普段の活動では取り入れることが難しい、買い物実習や工場見学、調理実習等を取り入れています。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	子どもの状況に応じて、個別で取り組む内容と集団で取り組む内容の目標を設定しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援開始前に職員全体でミーティングを行い、情報を共有し、支援についても方向性を確認しながら連携を図っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	職員の退勤時間まで子どもの受け入れ、半数以上の職員が送迎に出ており、翌日の支援開始前のミーティングで前日の支援や気づいた点の振り返りを行っています。	支援終了後の振り返りを職員全体ですることは難しく、少人数での振り返りになっている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1	些細なことでも業務連絡ノートに記録を残し、翌日にミーティングで共有することはもちろん、いつでも振り返りができるようにしています。	業務連絡ノートに記入できていないまま、ミーティングの際に口頭のみでの伝達になっていることがある。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的にモニタリングを行い、保護者のご意向やご要望を聞き取り、必要に応じて期間を短くして見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	0	4つの基本活動を組み合わせながら、充実した活動を提供できるようにしています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	子どもたち自身が活動を選択できる機会を多く作り、自己決定の力を育めるように配慮しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者や、子どもの状況をよく理解している職員が参加するようにしています。また、参加した後は職員全体で会議内容を共有するようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	必要に応じて学校や医療機関と情報共有を行い、統一した支援を行えるよう努めています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	日頃からこまめに情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	必要に応じて情報共有を行い、相互理解に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	必要に応じて支援内容等の情報共有を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	設けていません。	法人外の施設との関わりがあまり持てていなさい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	4	3	行っていません。	一緒に活動をする機会を設けることが難しい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	法人の代表が参加し、内容を共有しています。	内容を職員全体で周知できていない。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時に施設での様子を伝えつつ、ご家庭での様子も伺い、共通理解を図っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	定期的に法人全体で研修する機会を設け、お便りを通して保護者の参加を促しています。	

保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に必ず説明を行い、契約時以外でも必要に応じてわかりやすく説明することを心がけています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	計画作成前に面談を行い、子どもや保護者のご意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	面談での内容を振り返りながら、支援内容の説明を行っています。内容がご意向に沿っているかを確認して、同意をいただくよう努めています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	面談や日々の様子をお伝えする際にも話しやすい環境づくりに配慮し、悩み事や困り事を話しやすい関係づくりにも努めています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	保護者会を今年度から再開し、保護者の参加を募っています。参加したいと思っていただけるようなテーマを考え、多くの方に参加していただけるよう努めています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情があれば細かく内容を聞き取り、職員間で話し合い、迅速で適切な対応を心がけています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	毎月の通信に加え、ブログでも定期的に活動の様子を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報は決まった場所で保管し、保護者や外部の方の目に入らないように心がけています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	簡単なことばや絵カード、あいうえお表やホワイトボードを用いての筆談、選択肢を用意する等の方法でやりとりを行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	行っていません。	地域の方との交流が難しい。
非常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	定期的に研修や訓練を行っています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	研修を行い、内容を職員全体で周知しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	保護者からの聞き取りを行い、注意点や対応等を確認しています。また、薬は服薬のルールを徹底し、薬の管理についても職員全員で把握するようにしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	食事の際には十分に机の間隔をとり、職員がマンツーマンで対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	定期的に研修を行っています。研修に参加した職員が施設の職員全体に共有し、その都度安全管理についての確認を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	保護者の方と円滑な連携が取れるよう、詳細を伝えています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	記録を残し、内容を職員全体で周知して再発防止策を検討しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定期的に研修を行い、虐待防止に努めています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	経過観察記録を残し、職員全体で話し合い、検討委員会にあげて検討してもらっています。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	波の家東加古川放課後等デイサービス			
○保護者評価実施期間	2024年 8月 1日 ~ 2024年 9月 30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数)	20名
○従業者評価実施期間	2024年 8月 1日 ~ 2024年 9月 30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 8日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の配置数が基準より多い。	役割分担をし、安全面にも配慮した配置を心がけてい る。	職員一人ひとりが全体に目を向け、柔軟に対応していく。
2	長期休暇のレクリエーションの豊富さ。	同じようなカリキュラムにならないよう、事前にチーム で考えたカリキュラム表を掲載し、前月までにお配りし て、保護者・利用者に周知している。	利用者や保護者のニーズを聞き、支援内容を交えながら 楽しく参加できるレクリエーションの考案、実施。レク リエーションのレパートリーを増やすために他施設と情 報共有を図る。
3	スマートフォンカメラの設置で活動を見ることがき れる。	長期休暇には視聴できる時間を長くし、食事や活動を見 ていただけるようにしている。定期的にQRコードを更新 し、プライバシーの保護にも努めている。	保護者の方がより見やすいよう、カメラの向きや角度を 調整することを職員全体で意識していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	入口すぐが階段であること。	階段を利用しないと室内に入れない。	移動の際には職員が必ず付き添い、子ども一人ひとりの ペースを合わせる。
2	ワンフロアであること。	活動を分けることが難しい。静かに過ごしたいときや、 音が苦手な利用者への対応が課題。	パーテーションを活用し、子どもの特性に応じて環境設 定を考える。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		保護者等からの事業所評価の集計結果						
				公表日 令和7年 2月 1日				
					利用児童数 27		回収数 20	
		チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。		19	1	0	0	・大きい子が多いので部屋が少し狭く見える。 ・広い部屋で過ごしやすそうです。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		19	1	0	0	・沢山の先生方がおられ、安心してお任せできています。 ・波さんの先生方の数は多分、他の事業所さんでは見たことがないので安心して通わすことができます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		20	0	0	0	・整理整頓がされていて、子供達にもわかりやすくなっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。		20	0	0	0	・広い空間を上手に使われています。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		20	0	0	0	・波の家教室で対応して頂いています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		20	0	0	0	・皆で活動する時は工夫された内容で部屋を広く使っています。支援内容は合っていると思います。
	7	子どものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		20	0	0	0	・息子を見て内容を決めるので、ずっと見て頂いている先生方のご意見を聞く機会があれば対応して頂いています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。		20	0	0	0	・その時の成長に合わせて決めて頂き、その時に合った内容を提案して下さるのであまり迷うことがなく助かっています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。		20	0	0	0	・個人での療育をして頂いています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		20	0	0	0	・波の家教室で対応して頂いています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。		9	1	8	2	・あるとは思うのですが、私自身の認識不足かと思います。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。		20	0	0	0	・冊子をいただき、それに添っての説明がありました。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。		20	0	0	0	・内容を丁寧に説明して下さり、内容変更の助言もして頂いています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		17	1	0	2	・プリント等でのお知らせになっていると思います。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。		20	0	0	0	・小さい事から大きい事まではっきりと伝えて下さり、その内容に一喜一憂しますが、知る事ができるので助かっています。 ・いつも細かく様子を教えてください、本当に有難いです。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		20	0	0	0	・面談では短い時間ではなくしっかり話を聞いて下さり、質問には必ず回答をして下さいます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。		20	0	0	0	・定期的に波の家教室で訓練をして頂き、色々とご指導、ご支援をして頂いています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		16	0	0	4	・プリントでお知らせをして頂いています。

保護者への説明等	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	0	0	0	・いつも相談には丁寧に対応して下さり、改善案等のアドバイスを頂いています。相談がしやすい環境です。	今後も現状を維持していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	0	0	0	・お迎え時に一日の様子を細かく教えて下さります。	今後も現状を維持していきます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	1	0	0	・サニーサイドは利用外の事業所さんの事、先生のコラムが載っており、テーマになっている事の歴史や由来などを知る事ができ、いつも楽しみにしています。	通信やブログ等で発信しています。契約や面談の際に伝えています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	0	0		今後も現状を維持していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	0	0	0	・プリントで頂いています。変更等があればその都度お知らせをしてくれます。	今後も現状を維持していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	0	0	0	・いつも地震、大雨等を想定された訓練をして下さっています。	今後も現状を維持していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	0	0	0	・事業所に送迎した際、部屋に入ってくれる人の度にしっかりカギをされています。	今後も現状を維持していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	0	0	0	・しっかりした対応をされていると思います。	今後も現状を維持していきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	20	0	0	0	・息子にとって波さんは居心地の良い場所、役割を与えてくれる場所、楽しい場所だと思います。	今後も現状を維持していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	0	0	1	・学校に行く事はイヤだ！とたまに言うのですが、波さんに行くよ！と言うとルンルンになります。 ・娘の嬉しそうな姿を見て、親もとても安心しています。	活動内容を工夫し、楽しく通っていただけるように努めています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	0	0	0	・4年生より本格的にトイレトレーニングが始まり、事業所さんのご協力もあり、パンツで過ごせています。 ・いつもありがとうございます。	今後も現状を維持していきます。